

島原本広第179号  
平成22年12月7日

島根県知事 溝口善兵衛様

中国電力株式会社  
常務取締役 島根原子力本部  
本部長 清水希茂

島根原子力発電所2号機の発電開始について

島根原子力発電所2号機（沸騰水型、定格電気出力82万キロワット）は、平成22年3月18日から第16回定期検査を実施しておりますが、平成22年12月6日22時05分、発電を開始（原子炉起動、平成22年12月2日9時00分）しましたので、島根原子力発電所周辺地域住民の安全確保等に関する協定第8条第1項（4）に基づきご連絡いたします。

今後、調整運転を行った後、経済産業省の最終検査を受け、定期検査を終了する予定です。

なお、今回の定期検査中に実施した主な工事等は別紙のとおりです。

以上

## 1. 定期検査中に実施した主な工事

## (1) 燃料取替工事

原子炉内の全燃料（560体）のうち、132体を新燃料に取替えた。

## (2) 制御棒駆動機構取替工事

制御棒駆動機構137体のうち、19体を同一設計の予備品に取替えた。\*

## (3) 出力領域計装取替工事

出力領域計装の検出器集合体31体のうち、4体を同一設計の検出器集合体に取替えた。

## (4) 逃がし安全弁取替工事

逃がし安全弁12台のうち、6体を同一設計の予備品に取替えた。\*

## (5) 制御棒取替工事

ボロンカーバイド粉末を制御材とする制御棒8本、またハフニウム棒を制御材とする制御棒4本について、各々同一タイプの制御棒に取替えた。

## (6) 耐震裕度向上工事

耐震安全性に対する信頼性を一層向上させるため、配管等について支持構造物の補強を行った。

## (7) 原子炉再循環系配管他修理工事

応力腐食割れに対する予防保全の観点から、A-原子炉再循環ポンプ入口配管およびB-原子炉再循環ポンプ出口配管について除染口を削除するとともに、A-原子炉再循環ポンプ入口配管について原子炉浄化系配管への分岐部を一体構造として溶接線を低減した配管へ取替えを行った。なお、配管の取替えにより生じる新しい溶接継手部には、応力腐食割れの発生抑制として水冷溶接法による応力改善を行った。

※ 定期検査作業を効率的に実施するため、プラント運転中に点検手入れを実施した同一設計の機器（予備品）と交換〔入替点検〕

## 2. 定期検査中に実施したトラブル水平展開

## (1) 原子炉再循環系配管等の点検

原子炉再循環系配管等溶接部の23箇所について、点検を実施し、異常のないことを確認した。

平成 21・11・18 原院第 1 号「発電用原子力設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について（内規）」に基づく検査

## (2) 復水・給水系配管等の点検

復水・給水系配管等、718箇所について、配管肉厚測定を実施し、異常のないことを確認した。

平成 20・12・22 原院第 4 号「原子力発電工作物の保安のための点検、検査等に関する電気事業法施行規則の規定の解釈（内規）」に基づく検査

### (3) 排ガス再結合器金属触媒の取替

国内のBWRプラントにおいて、排ガス処理系再結合器の触媒性能低下による起動時の水素濃度上昇事象が発生したことに鑑み、2号機にも同種の金属触媒を使用していたことから対策触媒に取替えた。

以 上